



今号では、3月26日の矢川保育園での懇談会と、4月19日の矢川保育園保護者会役員の方々との話し合いについて報告します。また、保育整備計画(素案)について、市民の意見を聞く会の開催をお知らせします。

保育園民営化の方針に係る懇談会を開催しました (3月26日 @矢川保育園)

懇談会には、民営化対象園である矢川保育園の保護者の方々(17名)にご参加いただき、保護者の皆様から様々なご意見をお寄せいただきました。懇談会の記録は、市ホームページの「公立保育園民営化の取組」のページにおいて公開中です。是非ご覧ください。以下、主なご意見をご紹介します。

用語が分からず理解ができないという声をいただいていますので、これまでにいただいたご質問の中から、今後、各テーマごとに解説するお便りを作成し配付していく予定です。

【財団方式について】

矢川保育園について、社会福祉法人ではなく、先生が変わらない財団方式での民営化はできないの？

【新園舎への意見反映について】

矢川保育園民営化後の新園舎の設計には、保護者会の要望・意見を取り入れてもらえるの？

【サービスの拡充について】

新事業者に移管されたときに、保育時間の延長されたり、保育サービスが拡充されることはあるの？



【民営化の進め方について】

三者協議会はどうな構成？
合同保育はいつ、どの場所で行われるの？

事業者の公募はどのように募集するの？

基準を満たさなかった法人しかなかったら、どうするの？

【民営化移行の不安について】

私立園のチェックをどのようにしているか？

公立と私立の交流ができていない中で、保育ソーシャルワーカーが私立園で現状把握できるの？

矢川保育園保護者会役員の方々との今後の進め方について協議しました (4月19日 @国立市役所)

矢川保育園の保護者会役員4名の方々とお会いし、民営化を進めていくにあたって、その進め方をどのようにしていくのが良いか、話し合いを行いました。

【役員の方々から出された主な意見】

<現状>

- ◆ 民営化により、この先どうなっていくのかが見えず不安になっている保護者もいる。
- ◆ 民営化に賛成でも反対でもないが、子どもへの影響に最大限配慮してほしいという意見もあった。
- ◆ 例えば、3月26日の懇談会で“財団方式”について質問が出ていたが、そもそも財団とは何かが分からない人も多い。分かりやすい解説が必要である。
- ◆ 保護者説明会を開催しても、人が集まらないのが現実である。
- ◆ 説明会では、何を質問してよいか分からない保護者も多いのではないのか。また、発言するのが苦手な方もいる。

<対策>

- ◆ 各テーマごとに解説した分かりやすい紙面を作成し、園のポケットを通じて各保護者に配付。紙面の作成は、平易な文章で、枚数を少なく、読みやすいように工夫したものを作成していく。
- ◆ 紙面の最後には、アンケートをつけて、保護者の意向を把握していく。アンケートは、“Yes” or “No” + “わからない(理由)”の形式で答えやすい設問にしていく。
- ◆ アンケートの結果を集約して、各保護者にお知らせし、課題の共有をしていく。

保育整備計画(素案)市民の意見を聞く会を開催

日時	会場	対象者
①5月14日(日)14時～	国立市役所2階委員会室	公立保育園保護者
②5月21日(日)14時～	国立市役所3階第1・2会議室	保育園保護者を含む市民の方を対象
③5月28日(日)14時～	北市民プラザ会議室	
④6月1日(木)19時～	南市民プラザ多目的ホール	

【内容】2月27日に公表した「国立市保育整備計画(素案)」についてご意見を伺います。(4月21日付けで開催のお知らせ文を配付しています。)